



江筋に突込まれた

磐炭の平發電所

契約不履行は昨年未から 事實を上げられて恐縮する

磐城炭礦平發電所が蒸気機には別に夏井川の水も揚げ 陶冷却用に愛谷江筋から供るので返し水は寧ろ便つた 給を受けてゐる毎分時三百ものより多くなると云ふ事 立方の水量を再び江筋に返すに承諾したもので夫 すべき契約に拘らず之れを私に實行されないので 實行しない爲め江筋 組合から抗議を持 電所側では 達された事は昨報の如く發 電所では最初これを暖味に 察らんとしたが事實夏井川 に放流してゐるものと判つ た契約不履行を取するに 至つたものは

千三百八十六圓の 失業救済道路工事

平町胡摩澤から舊城跡へ 通ずる路線来月一日着工

路線の コンクリート平町が失業救済の目的を以て内縣道に通過する既設路の改 及び土管が破損した昨年計画した杉平道路は縣補 工費延長百三十六間中二 末頃から冷却に使つた水助二百三十九圓を得て愈 間は去る昭和四年からの縣 案で縣補助を見込んだが許 の箇所多く隣地主より苦情になつた路線は胡摩澤郵 局直前の 便局直前の 組合側としては灌 溉期でなかつた間は兎も角 移るもので中三間延長八十 且つ又本年は目下の處幸ひ二間此の總工費千三百八十 にも豊富なので支障はな 六圓町の直營として所屬人 にも、契約を實行されな 夫の中六割の失業者を くては水の不足した場合に 労働は日掛の管であつて 當惑する發電所が本契約を 八月十五日までの 結ぶ

組合側

縣道が

最初の

十七圓の石垣を板棚に換へ るもの其他工費三百六十四 圓の實施に改め引續き無補 助を以て行ふもの、如く従 つて町財政の關係もあるが 八月初旬頃着工の豫定であ ると

當初に

竣功に

空巢れらひ

於て冷却用 次に高月臺から胡摩澤地 當時住所不定無職石城郡大 部長加藤卯之吉、副部長

引換代金を

横領費消

横着な運送店 訴へらる

平町七丁目居住吉沼源太郎 は昨年十一月、東京市下 郡村大字細谷生れ芳賀藤一 谷區車坂の農具販賣店瑞光 社より代金引換の約束で稻 徘徊中舉動不審で平署に檢 査取調中だが同人は最近平 町附近の空巢集ひを働いた 曲者らしい

比佐組合長に不満で

平理髮部長等辭職

今朝總會を開いて改選 結果部は分離を要求す

紛糾つゞきの平理髮下理髮 業組合平部會では先頃就任 した許りの部長木村由三郎 副部長荒木忠吾の二氏が比 佐組合長の態度に不満あり として突然 辭任し た、ゆめ本日 午前七時より平町南町を藤 かもじ店方に部會の總會を 開き役員改選を行ひ左記諸 氏當選したが席上結髮部の 代表二三名から從來組合の 總會が午前一時二時の 深夜に 及ぶこと往 々で結髮部の女を加入する 會合に風紀上好ましくからず 又女の會員に兎角發言權を 輕んぜられる傾きあるを遺 憾となし結髮部を分離獨立 されたいとの要求あつた結 局次の總會まで保留となつ て散會した

養鶏事業

共同出荷計画

井城郡磐崎村の藤原では三 井嶺山の廢坑後炭礦を得意 としてたる商人その他が生活 會の途を殺されたので其の善 後策に少資本で出来る養鶏 を開始し婦女子にも容易な 同業を本業として營むもの のらしく直前に下水路を設 業員五名の餓首を行ひ昨廿

共濟病院前に下水路

工事近指名入札

漸次改まる南町裏の體裁 病院は此爲めセメント橋

平町では南町裏の新線や開置される共濟病院では中二 路の排水が思はしくないので開除のセメント橋を築造す べく豫て計畫されてゐた十 五丁目共濟病院前通り路側 の町有土地を以て路巾擴張 と同時に 延長五 十三間五分 の排水堀を設け新街路幹線 路の排水は長三十一間内徑二 尺のコンクリート管を埋設 した外數件のコンクリート 管を埋設した所今廿五日朝 署署猪 得る五萬立方尺の水を貯 養鶏事業の 公營堂協の 溜池に 注ぐ計畫を 立て同工事は既に土木委員 の諮問済みとなつて來月 の途を殺されたので其の善 後策に少資本で出来る養鶏 を開始し婦女子にも容易な 同業を本業として營むもの のらしく直前に下水路を設 業員五名の餓首を行ひ昨廿

コソ泥

捕はる

當時住所不 定無職伊達 部保原町生れ渡邊金治(九) は去る廿四日夜平町新田町 口城地方の春蘭は既に七分 通りの出廻りを過ぎ昨廿五 日の四倉及び植田蘭市場の 總量は合計七九〇貫に過ぎ なかつたが取引左の如し 四倉蘭市場、白蘭四六一 貫、最高三圓七錢、最低 二圓卅二錢、買馴二圓八 十六錢、掛目廿四 植田蘭市場、白蘭三二九 貫、最高二圓八十一錢、 最低二圓七十五錢、買馴 二圓七十七錢、掛目廿四

春蘭市況

既に七分通り 出廻る

業員整理

策動を警戒中

平署で不穩の 策動を警戒中

川柳

世からくり(二)

浮世からくり(二) 十寸叟生 朝歸り親父もじつはあん どの 朝歸り親父もじつはあん どの 酒飲の舊惡の出る土用ば

尻一つになる説法を親仁は とき 雑巾の白きを親仁はいて 居る 盗人をとらへて母は襟を 下げ 井日端へ子の行く夢に母 の汗 母性愛又其極致に至りて

國の母産れた文を抱きあ るき 四五兩ですめばおふくら 受け出す氣 そろ／＼と息子恭にあき 鞠にあき 寝てはなすとこへばつか 何事にも大げさになりが なる十六七の稚氣を見よ



稲の植え方

「挿秧」に就て (三)

以上の如く何れの機械も使用するにも田面に水があり又泥濁水がどろ／＼しては断つ作業が不可能である故に田面の泥濁水を沈澱せしめて後之れを排除する事は肝要である、随て此の方法を實行するには田植作業の順序として田植着手の前日までに本田全部の植代播並に地ならしまで終らしむる必要が生ずる而して愈々植付着手の日には代掻きの必要なきを以て全部の入力を果して植方に集中し得ることになりて勢方の按配並に作業規律の都合がよくなる即ち田植の初まれば馬の必要がなくなる、現に此の方法の一般的に行はれてゐる地方に行けば田植が初まる頃には殆んど馬の姿を見ることがなくなるのは此の爲である、唯だ此方法を行ふに當り初めての者は植付前に泥濁水を沈澱せしめて水を押し苗を植付ければ果して苗の根付(活着)が如何なるものかを疑ふ者多きが故に参考の爲一言申述べて置く、右の如き疑を起す者は泥濁水中に苗を地面に挿入すれば追々泥濁澄すると同時に植苗の根元に泥が沈着するを以て根付がよくなる然らざれば苗の根元に泥

が沈着せざるを以て根付不良であると考えが此の弊解が實際に稲苗の活着(根付)の早遅等に著しき關係を有つて居るのであるから充分なる理解を望む次第であつて即ち一度沈澱せる泥濁は之を攪拌すれば再び濁る而してまた必ず沈澱するもので唯だ其土質により沈澱の速遅あるのみである

スペイン G.H.N 元 詰
甘味葡萄酒
ゴルフポートワイン
¥ 1.10
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(平二) 西村屋薬舗 (電三)

夏物入荷 山澤荷

秋原齒科醫院
秋原義雄
電話 二五九

服んで良くなる (絶對に胃腸を害さぬ)

淋病と 特効薬 濟淋

本舗 責任製劑 水野藥局
平町一丁目
振替貯金口座 八八七六

健康長壽の源泉

朝日養素

二木、友澤醫學博士の實驗推獎

脚氣、腎臟病、胃腸病、病後の衰弱、産前産後、乳なき小兒、運動の過不足、妊婦等に最も大なる効果があります。◇百回一見に如かず一ヶ月飲んで見て下さい(一合代價七錢)

名譽 金牌 受領

講崎商店朝日養素部

毎日午前 平町新川一六
後二回配達

平出張所

◇六月二十五日公開◇

日活特作時代劇 英雄時代

澤田清、酒井米子、山田五十鈴共演

松竹特作時代劇 南國太平記

月形龍之助熱演 第一篇

松竹特作現代劇 黎明の世界

高田稔、柳家金語楼、花岡菊子共演

普通席 拾錢 日活松竹映畫 平館 電四 六六六

表代城磐 酒銘

味経 濟 美 油 醬 的 マ ヤ

山崎合名社 電話十番

矢野恒太序 大内民憲著

服部宇之吉

教育 改革 概論

四六版三二頁 定價五十錢 郵税六錢

發行所 東京市丸の内 日本評論社

取次所 石城郡 内郷村報社

本書は會て本紙にも連載せる大内民憲の提唱を以て行跡れる現代の教育制度を解明し學理と實際、歴史と實驗とから著者が眞しつ愛國の大精神を説く國民必讀の書

破格的大勉強の新しい書店

舊中校下 乾商店跡に

新店であるが故の一時の勉強ではない 永久に薄利多賣主義、親切、迅速をモットーとして皆様の御期待に奉仕する

書籍 雜誌 中等教科書一式
中等學校參考書 小學參考書
ノート 雜誌 一般文具
諸帳簿紙類 高級萬年筆

平町極楽小路 コマツ書店
電話三一五番

諸毒下しの大妙藥 安流丸

持約山野邊藥局

平町五丁目

大森醫院

内科 小兒科

醫學士 大森 勇

電話二五八番

井坂醫院

門 專 院 開 業

婦産科 花柳病科

午前宅診 午後往診 入院應需

平町南町